



就職環境の変化

2026年3月卒の就職活動は、3年次の夏や秋冬に実施されたインターンシップや1DAY仕事体験に参加した学生に対して、早期選考につながる動きが一層加速し、「早期化」が進む一方で、「長期化」も進んだと言えます。また、職務を限定した専門職を採用する「ジョブ型採用」を取り入れる企業も徐々に増えつつあり、採用の「多様化」も進む傾向にあります。さらに、新卒初任給を引き上げる動きも多く見られるようになりましたが、俗に「オワハラ」と言われる、企業からの「就活終われハラスメント」も散見され、人材獲得に企業側が苦慮している様子がうかがえます。こうした状況から、学生有利の売り手市場であると言えます。とはいえ、学生側もインターンシップからの早期選考への対応や、希望業界・企業を早期に絞り込まなければならないなど、戸惑いながら就活を進めるケースも見受けられました。加えて、近年では生成AIを活用して自己分析やエントリーシートの作成、企業研究を行う学生も増えており、情報収集や準備の効率化が進む一方で、AIに依存しすぎることで自身の言葉で語れないといった課題も見られます。AIを活用する力と、それを自分の考えとして昇華する力の両立が、今後ますます重要になると考えられます。

2027年3月卒の採用選考時期についても、今年度と同様に政府から経済団体へ要請が出されていますが、採用選考の多様化や、国内外の経済・政治の変動による環境の変化の可能性は高まっています。そうした中、エージェント型サービスやスカウト型サービスを利用する学生も増加傾向にあります。プロフィール情報を登録しておくことで、エージェントや企業から声がかかるこれらのサービスは、効率よく就職活動を進めたい学生にとってメリットがある一方で、受け身になってしまう可能性もあり、利用にあたっては注意が必要です。こうした変化に学生が戸惑い、不利益を被らないように、本学としても十分な対策を講じてまいります。また、在学生と卒業生をつなぐサービスツール『ビズリーチ・キャンパス』においては、サービスの活用も進んでいます。さらに、「都市大キャリアNavi」という本学内のキャリア支援システムにおけるOBOG検索機能も充実し、卒業生との接点形成が進んでいます。保証人の皆様におかれましても、学生への直接的なご支援はもとより、情報提供などの間接的なご支援も一層賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

学生が就職する力を高めるためには、「(基礎力+専門力)×職業的態度×就職活動力」を意識することが重要であると本学のキャリア関連の担当者で共有しています。



低学年時にはキャリアの意識を高める内容の授業やガイダンスを行い、「基礎力」を高める授業や課外活動への取り組みの重要性、インターンシップへの積極的な参加の効果を伝えます。また、学年が上がってからは全員が研究室に配属される本学の強みを生かし「専門力」を高めることを意識するように伝えていきます。就職活動を迎える時期には、就職指導の専門家が設計した面接や応募書類作成、筆記試験対策などの「就職活動力」を高めるプログラムを多数開催しています。これらのプログラムに積極的に参加することで総合的に「就職力」が高まり良い結果につながっているといえます。

就職力向上サイクル

理想の就職を実現するには、まずは今の自分と将来の自分をしっかり考え、そのために、社会の動きや職業について知り、必要な力を着実に磨くことが大切です。本学では内定獲得に向け確かな就職力を高めるため、体系的に学んだことを振り返るTCU FORCEやキャリア支援プログラムなど、様々な取り組みを実施しています。



本学の支援体制

従来の就職支援業務の枠を超えて、キャリア全般に関わる幅広く充実したサービスを提供する「キャリア支援課」を両キャンパスに設置しています。キャリア支援課には専門の相談員が常駐し、就職の相談のみならず、職業選択や進学など、将来の進路についての確かなアドバイスを受けることができます。常駐しているスタッフの多くがキャリアカウンセラーの有資格者であり、キャリアに関することはどんなことでも安心して相談ができる環境を整えており、卒業生や先輩学生による密度の濃い情報をはじめ、各社の求人、公務員、Uターン、就職活動支援サービス会社の各種資料なども豊富に提供しています。

各学科では就職担当教員がキャリア支援課と連携して強力に学生をバックアップし、学科の強みや特徴を活かして、一人ひとりのニーズにあった支援を展開しています。また、就職支援 행사를数多く実施し、徹底してキャリアについて考える機会をつくっています。更に本学の前身である武蔵工業大学時代からの強みである「社会で活躍する卒業生」のご協力を得て、有名企業400社を含む各社のOBOG支援会や校友会主催の進路相談会のほか、学部・学科ごとに企業・業界セミナーや相談会を実施するなど、充実した支援体制を整えています。

2025年度の状況

2026年3月卒対象、文部科学省発表の2025年10月時点での国公立大学の平均内定率は「73.4%」となり、本学でも活動を継続している学生に対しての支援は最優先と認識し、納得のいく進路決定につながるよう、一層の就職活動の支援を実施してまいります。これからの時期、「モチベーションの維持」「活動を続ける姿勢」が重要なポイントとなります。

最後に

学生の進路に関する意識が多様化し、変化の大きな就職環境に対応すべく、今後ますますキャリア支援業務に注力してまいりますので、引き続き保証人の皆様のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

キャリア支援課